

脳神経外科・脳血管内治療センターを受診している患者さんへ

当科では、下記の研究を実施しています。この研究は、愛知医科大学医学部倫理委員会において、ヘルシンキ宣言の趣旨に添い、人を対象とする医学系研究に関する倫理指針、ヒトゲノム・遺伝子解析研究に関する倫理指針等を遵守し、医の倫理に基づいて実施されることが審査され認められた研究です。

今回の研究は、対象となる患者さん一人ずつから直接同意を得て行う研究ではなく、研究内容の情報を公開し、研究対象者となることを拒否できる機会を与えることが求められているものです。もし、この研究に関するお問い合わせなどありましたら、以下の「問い合わせ先」までご連絡ください。

記

研究課題名	脳動脈瘤塞栓術に用いるカテーテルを最適な形にシェイピングする作業を支援するシステムの開発
研究機関名	愛知医科大学病院
研究機関の長	病院長 羽生田 正行
担当科等	脳血管内治療センター
研究責任者	(職名) 教授 (氏名) 宮地 茂
試料・情報を利用する学外の研究機関名・研究責任者名	愛知工科大学 工学部 研究責任者：永野佳孝 (工学部教授)
研究の意義・目的	三次元 CT 血管画像を元に、治療を安全に行うのに最適なカテーテル先端のシェイピング(熱で先端を曲げる)の角度や形状を自動的に算出し、つけるべき形状を三次元的に教えてくれるシステムの開発を目的としています。
対象となる患者さん	2018年6月から2020年3月までに【未破裂脳動脈瘤】と診断された患者さんのうち治療が終了した患者さん
研究の方法	患者さんの三次元 CT 血管画像を匿名化して愛知工科大学に送り、その画像をもとに、三次元的な血管構築をコンピューター上で再現し、最適なシェイピングの形状を明らかにします。将来的にはそのデータをもとに、実際の治療を行う予定ですが、まずはこれまでの目視によるシェイピングで治療された患者さんのデータをもとに、最適なシェイピングを後方視的に検討する予定です。この研究は科学研究費の補助を受けており、研究内容は日本学術振興会などのウェブサイトなどで情報公開されております。
研究期間	倫理審査承認日 ~ 2021年3月31日
研究に用いる試料・情報	情報：【造影 CT による、三次元血管画像 等】
外部への試料・情報の提供	上記画像データについて匿名化したのち、DVD にコピーして郵送
試料・情報の利用又は提供を希望しない場合	本研究への試料・情報の利用又は提供を希望しない方は、下記問い合わせ先まで申し出てください。

その他	
問い合わせ先	愛知医科大学 医学部脳血管内治療センター 担当者：教授 宮地 茂 〒480-1195 愛知県長久手市岩作雁又1番地1 電話 0561-62-3311 (内線 22138)